

株式会社 ファミリーマート 御中

タイ王国
子どもの水の事故防止推進事業

第2四半期報告書（2019年6月～2019年8月）



2019年10月
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



1. 事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 子どもの水の事故防止推進事業 |
| 対象国・地域 | タイ王国 バンコク都 |
| 事業期間 | 2019年3月～2021年2月（24ヶ月） |
| 報告期間 | 2019年6月1日～2019年8月31日 |
| 予算 | 450,000米ドル |
| 受益者 | バンコク市内の小学校14校 |
| 事業目的 | 子どもの水の事故を防ぐための水泳教室の実施、行政に対する政策提言を通し、子どもたちの水の事故予防を推進する |

2. 事業全体の進捗

タイにおける子どもの水の事故のリスクの高さは、深刻な問題となっています。15歳以下の子どもの死亡原因で最も多いのが溺死であり、2000年から2018年までの間に合計2万2千人以上の15歳以下の子どもが亡くなっています¹。セーブ・ザ・チルドレンは、子どもたちが水の事故から自らを守ることができるようになることを目指し、2016年より、保健省や教育省の協力のもと、都市部・農村部における子どもの水の事故予防事業を実施しています。先行事業では、ゲームやアニメーションを取り入れた教材を使用しながら、子どもたちが水上安全に関する知識を向上させ、水の事故を防ぐための泳法を習得することを目的としてきました。本事業は、これまでの成果と学びをもとに、さらに対象を拡大し、障害のある子どもも含めたより多くの子どもたちに、水上安全のメッセージと予防のための知識と技術を広げていくものです。

2019年6月から8月の第2四半期においては、今年度事業に参加する8校の全ての学校において事業開始イベントを行い、校長や教師、保護者とともに、学校における活動の内容やスケジュールを協議し、詳細な計画を立てました。この計画をもとに、7月からそれぞれの学校において、小学4年生から6年生を対象とした水の事故予防のための講習と泳法訓練を行いました。この講習は、救命ジャケット、ロープや心肺蘇生法の訓練に使用する人形などを使用して実施されました。

また、災害時には特に障害のある子どもが影響を受けやすいことから、特別なニーズのある子どもの水の事故の予防を本事業で推進していくために、事業チームは、障害のある子どもに関する活動を行う関係機関との協議を開始しました。9月には、教育省特別教育局、保健省、災害防止軽減局、バンコク都庁教育局、チュラロンコン大学公衆衛生学部、障害児のための基金などとともに、障害のある子どもにやさしい水の事故予防のためのワーキング・グループの設立について協議しました。

¹ [Bangkok Post 28th March 2019](#)

3. 活動の進捗

期待される効果 1 : 子どもとその家族、地域住民が、水の事故予防のための知識と技術を習得する

<生徒たちへの 6 週間講習の実施>

Wat Wetawanthammawat 小学校では 8 月、合計 10 日間の講習を実施し、4 年生の計 63 人の生徒（男子 30 人、女子 33 人）が 2 つのグループに分かれて参加しました。同校は先行事業でも対象校となっており、教師は今回の指導者研修にも参加しているため、生徒への教授法については知識と経験があります。生徒たちはこの講習で、水の中で浮いて救助を待つための姿勢などを学びました。また、さまざまな道具を使い、溺れそうになっている人を救助する方法も覚えしました。水の事故予防に関する知識については、事後テストにおいて 63 人の生徒のうち 49 人に知識の向上が見られました。この講習は 11 月以降にも継続して実施されます。

なお、Wat Wetawanthammawat 小学校の他に学校にプールを有する Suan Bua 小学校および Sanghirun 小学校は、幼稚園から小学 6 年生を対象にした泳法訓練を 9 月に実施する予定です。

<生徒たちへの 3 日間キャンプの実施>

7 月 22 日から 24 日には、Surao Ban Don 小学校にて 3 日間の講習を実施し、4 年生から 6 年生の計 77 人（女子 46 人、男子 31 人）が参加しました。4 月に実施した指導者研修の後、教師たちは、水の事故のリスクの高い地域やリスクを招く行動についてどのように生徒たちに教えるかを考え、計画を立てました。3 日間の講習では、ロープなどを使用し、人命救助の際の重要なメッセージとなる“Shout-Throw-Hand”（叫ぶ→投げる→手渡す）の練習を行いました。また、心肺蘇生法の訓練も実施されました。続いて 8 月には、Surao Sam-in 小学校、Sawasdee Wittaya 小学校、Prathomnonsee 小学校の 4 年生から 6 年生の生徒がそれぞれ 3 日間の講習に参加し、4 校で合計 241 人（女子 124 人、男子 117 人）の生徒が参加しました。この 241 人のうち 182 人に、事後テストにおいて知識の向上が見られました。

表 1. 講習に参加した生徒数（6 週間講習、3 日間講習合計）

| 学校名 | 実施日 | 参加者 | | |
|--------------------------|--------------------------|-----|-----|-----|
| | | 女子 | 男子 | 合計 |
| Wat Wetawanthammawat 小学校 | 2019 年 8 月 8~27 日の 10 日間 | 33 | 30 | 63 |
| Surao Ban Don 小学校 | 2019 年 7 月 22-24 日 | 46 | 31 | 77 |
| Surao Sam-in 小学校 | 2019 年 8 月 13-15 日 | 32 | 25 | 57 |
| Sawasdee Wittaya 小学校 | 2019 年 8 月 14-16 日 | 28 | 31 | 59 |
| Prathomnonsee 小学校 | 2019 年 8 月 19-21 日 | 18 | 30 | 48 |
| | 合計 | 157 | 147 | 304 |

講習に参加した生徒および教師たちからは、この活動に満足しているという声が上がっており、生徒たちからは、楽しみながら学べる内容だったというコメントがありました。

～ 講習に参加した生徒たちの声 ～

「私の学校の近くにも水の事故が起こる可能性がある場所がありますが、そういったところで遊んでいる友達もたくさんいます。不注意による事故が起こらないようにしなければと思っています」(小学4年生の女の子)

「水泳訓練も心肺蘇生法の講習も楽しかったです。先生たちは私たちと一緒にプールの中に入って教えてくれました。このような機会が毎年あればよいと思います」(小学5年生の女の子)

「講習では、救命ジャケット、ロープや、水に浮くものなどを使って人命救助ができることを学びました。もし誰かが溺れそうになった時には、ここで学んだ知識を使って助けることができるようになりたいです。誰も水の事故に遭うことがないように願っています」(小学6年生の女の子)

「私の父親は、緊急救援のボランティアをしているので、私も心肺蘇生法の講習が好きです。将来、自分の父親のような、緊急時に誰かを助けることができるボランティアになりたいです」(小学5年の男の子)

「この講習を通して、水深が深いプールでも立ち泳ぎで15メートルを泳ぐことができるようになりました。この講習では、日常生活に必要な知識を学ぶことができると思います」(小学5年生の男の子)



<Photo-Voice>

“Photo-Voice”は、写真と声を活用し、参加型ワークショップで問題を発見し、その解決方法を考える手法です。指導者研修においてこの新しい手法について学んだ教師の指導の下、生徒たちは7月から、水の事故が起こるリスクが高い場所をマッピングする活動を行っています。この活動は学年を通して実施され、生徒たちの“Photo-Voice”による身の回りのリスク・マッピングの成果は、保護者会や事業終了時イベント等で発表される予定です。

<シード・ファンドを通じた活動支援>

6月下旬、事業チームはそれぞれの事業対象校に対し、「シード・ファンド」の申請についての説明を行いました。これは、研修などで得た知識を活用し、それぞれの学校独自のアイデアで教師や生徒による水の事故予防のメッセージ普及のための活動を行うことを推奨するもので、「シード・ファンド」とは、その実施に必要な費用を事業が支援するものです。各学校の教師や生徒は、セーブ・ザ・チルドレンの助言を受けながら活動を計画しました。

まずは、Suan Bua 小学校と Surao Ban-Don 小学校が、「シード・ファンド」への申請を行い、それぞれの学校における活動への支援を受けることになりました。Suan Bua 小学校は、“Photo-Voice”

の手法による生徒たちのための学習教材の作成を計画しています。Surao Ban-Don 小学校は、救命活動に使用できる道具と使用方法を展示するスペースを学内に設置し、また、学習教材を作る計画を立てています。他の参加校も、現在計画書を作成しており、10月までに申請する予定です。

期待される効果2： 地方及び国レベルで、インクルーシブな水の事故予防教育が普及する

<ワーキング・グループの設立>

タイの社会開発・人間の安全保障省の障害者エンパワーメント局によれば、2019年6月末現在、タイには200万人を超える障害者がいます。そのうち身体障害が50%を占め、次いで聴覚障害（19%）、視覚障害（10%）と続きます。この200万人強のうち、15万人が21歳以下の子どもおよび青少年です。また、精神保健局によれば、これとは別に自閉症、注意欠陥・多動性障害、知的障害や学習障害のある子どもが80万人以上います²。

セーブ・ザ・チルドレンはこれまでも、防災関連の事業で、障害のある子どもが学びやすいように配慮し、障害のある子どもを災害リスクから守ることに視点をおいてきました。本事業では、これまでの知見を生かし、教育省下にある特別教育局を事業のコア・アドバイザーとして、障害のある子どもにやさしい泳法の教授技術とガイドラインを作成していきます。

9月19日には、特別教育局と疾病対策局、障害者エンパワーメント局、子どもの安全および傷害予防のリサーチセンター、災害防止軽減局、バンコク都庁教育局、チュラロンコン大学公衆衛生学部、障害児のための基金やタイ・ライフセービング協会などの障害児教育に関係する機関と会議を行い、障害のある子どもにやさしい水の事故予防のためのワーキング・グループの設立に向けた話し合いを行いました。

<バンコク都庁、バンコク都庁教育局との協議>

8月27日にはバンコク都庁教育局長と会議を行い、事業の進捗を共有しました。局長は、この事業で、教師が独自に活動を展開できるよう指導者研修を行うという点や、指導方法についてのマニュアルを作成する点に興味を示し、バンコク都の公立校にこの活動を拡大する可能性について前向きな姿勢を示しました。また、この事業が障害のある子どもを包摂することに視点を置いていることにも賛同しました。

² [“Health and Trend” 5 Aug 2017](#)



図 1. 子ども向けの水の事故予防の教材

<障害のある子どもにやさしい水上安全ガイドライン作成>

この事業に参加する Wat Wetawanthammawat 小学校、Prathomnonsee 小学校は、特別教育学級を設置しています。この 2 つの学校には、付属の幼稚園も含め、6 年生までの合計 89 人（女子 33 人、男子 56 人）の特別なニーズがある生徒が通っています。そのうち学習障害が 6 割以上と最も多く、知的障害、自閉症、情緒障害のある生徒もいます。Wat Wetawanthammawat 小学校は、付属の幼稚園に、身体障害のある子どもの筋力発達トレーニングに使用するプールを有しているため、障害のある子どもにやさしい泳法訓練を取り入れるために活用していく予定です。

5 月 17 日には、特別教育局の Dr. Samart Ratanasakorn と、障害のある子どもにやさしい水の事故予防ガイドラインの開発について話し合いました。

<“Alert Little Tun³” アニメーションを使用した啓発メッセージの普及>

タイにおける子どもの水の事故は、3 月から 5 月にかけての期間および 10 月の、学校が長期休みの期間に多く発生します。3 月から 4 月の放映に続き、タイ公共放送 (Thai PBS) は、7 月上旬から 26 本のエピソードを毎週金曜に放映しました。これらの映像は、同放送のウェブサイトや Youtube でも視聴可能で、8 月末までのオンライン上での視聴数は合計 1 万 5 千以上となっています。

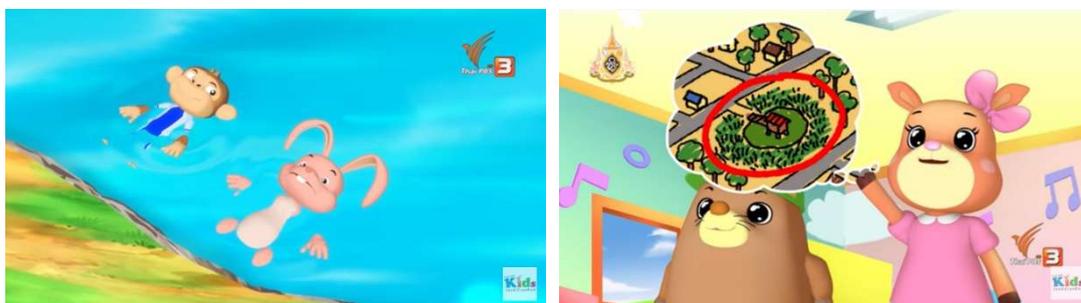


図 2. “Alert Little Tun” のメッセージは、幼稚園児にも分かりやすいものとなっています

³ モグラのキャラクター” Tun” が動物の仲間たちと防災（特に洪水災害への対応）について学んでいくストーリー。先行事業で作成した 13 のエピソードを含め、セーブ・ザ・チルドレンはこれまでに 26 エピソードを作成しています。Thai PBS の “Alert Little Tun” のサイト : <http://program.thaipbs.or.th/LittleTun>

<ソーシャルメディアを通じたキャンペーンの実施>

セーブ・ザ・チルドレンは、タイの全ての子どもの水の事故を防ぐことができるよう、国レベルで子どもの水の事故予防プログラムの実施を要望する声を集め、関係省庁に届けるための署名キャンペーンを開始しています。

4. 今後の活動予定

2019年9月以降は、主に以下の活動を予定しています。

- ・ 各学校において、引き続き、教師や生徒が中心となって水の事故予防のメッセージを広めるための啓発活動を計画し、実施します。
- ・ 指導者研修を受けた教師たちが、どのように水の事故予防プログラムを理解し、各学校での活動を実施できているかを振り返るワークショップを実施します。
- ・ 各学校における水の事故予防の講習、泳法訓練を11月から1月にかけて実施します。
- ・ 関係省庁の協力のもと、障害のある子どもにやさしい水上安全ガイドライン作りを進めていきます。

5. 活動の写真



学校周辺のリスク・マッピングを行う生徒たち（2019年7月22日、Surao Ban-Don 小学校）



プールを使った泳法訓練に参加する教師と生徒たち（2019年8月13日、Surao Sam-in 小学校）



「子どもの水の事故予防」をテーマにダンスを披露した幼稚園の子どもたち（2019年7月22日、Surao Ban-Don 小学校）



ロープを使った救命方法について学ぶ子どもたち（2019年8月19日、Prathomnonsee 小学校）



プラスチックの容器を使い、救助を待つ間の姿勢を練習する子どもたち(2019年8月14日、Sawasdee Wittaya 小学校)



心肺蘇生法を学ぶ子どもたち (2019年8月15日、Sawasdee Wittaya 小学校)



学校の周辺に存在する水の事故のリスクについて発表した子どもたち (2019年7月23日、Wat Wetawanthammawat 小学校)



参考資料 活動スケジュール（1年次） ※実施済みの活動は「X」で表記

| 活動 | 2019 | | | | | | | | | | | 2020 | |
|-------------------------------------|------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|------|--|
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | |
| 学校長期休暇 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業レビュー（内部） | | X | | | X | | | | | | | | |
| リクルートメント | | X | X | X | | | | | | | | | |
| キックオフ・ミーティング（内部） | X | | | | | | | | | | | | |
| 事業実施計画書最終化 | X | X | X | | | | | | | | | | |
| 資機材購入 | | X | X | X | | | | | | | | | |
| 活動 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 学校選定 | X | X | | | | | | | | | | | |
| 教師に対する指導者研修 | | X | | | | | | | | | | | |
| 教師に対するリフレッシュ講習 | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒たちに対する、水の事故予防のための6週間講習の実施 | | | | | X | X | | | | | | | |
| 生徒たちに対する、水の事故予防のための3日間キャンプの実施 | | | | | X | X | | | | | | | |
| PhotoVoiceの実施 | | | | | X | X | | | | | | | |
| 各学校における啓発活動の支援 | | | | | | X | | | | | | | |
| 事業成果披露イベント | | | | | | | | | | | | | |
| ”Alert Little Tun”のCDや啓発教材（塗り絵本）の印刷 | | X | X | X | | | | | | | | | |
| 水の事故予防学習のための資材購入 | | X | X | X | | | | | | | | | |
| 活動 2 | | | | | | | | | | | | | |
| 教育省との四半期ミーティング | X | | | X | | | | | | | | | |
| インクルーシブ教育ワーキング・グループの設立 | | | X | X | X | X | | | | | | | |
| インクルーシブ教育ワーキング・グループの会議実施 | | | X | X | X | X | | | | | | | |
| インクルーシブな水の事故予防ガイドラインの作成 | | | | | | | | | | | | | |
| 水の事故予防カリキュラムのミーティング | | | | | | | | | | | | | |
| サクセス・ストーリー集の作成および印刷 | | | | | | | | | | | | | |
| 水の事故予防に関する一般向けの啓発活動 | | X | X | X | X | X | | | | | | | |